様式２

| 番号<br>観点 | 発行者の番号・略称 | 使用学年 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|---|---|---|---|---|
| | 116・日文 | 第３学年<br>公民的分野 | 公民・933 | 中学社会　公民的分野 |
| 取扱内容<br>（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等） | ○　私たちと現代社会に関する内容<br>グローバル化する世界で生きる私たちや、受けつぎ、創造する日本の伝統と文化を通して、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、合唱の練習場所の割り当てに関する事例を通して、問題を追究し説明したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。<br>○　私たちと経済に関する内容<br>自由貿易に関する事例を通して、判断した過程や結果をまとめたり、消費を支える生活、消費者主権を通して、消費生活を営む上での責任を自分の生活と関わらせて考え説明したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。<br>○　私たちと政治に関する内容<br>ネット社会とつき合う方法やバリアフリーの社会を通して、基本的人権の意味を考察したり、環境保全への取組や裁判員裁判のシミュレーションを通して、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。<br>○　私たちと国際社会の諸課題に関する内容<br>国際連合や第二次世界大戦後の主な地域紛争を通して、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割等について考察したり、これからの社会をテーマとして、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。<br>○　知識・技能の習得、活用、探究への対応<br>各領域末の「チャレンジ公民」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。 | | | |
| 内容の構成・排列、分量等 | ○　内容の構成・排列<br>「現代社会をとらえる見方や考え方」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の編では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。<br>○　内容の分量<br>「私たちと現代社会」は30ページ、「私たちと経済」は55 ページ、「私たちと政治」は89ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は43ページであり、総ページ数は249ページで、前回より約4%減となっている。 | | | |
| 使用上の配慮等 | ○　各編の導入に、学習の見通しをもたせる「ナビ」のページを設けたり、北海道の事例から日本の風景を守るための方策を考察したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。<br>○　広い視野から学習を深めることができるよう、「ズームイン」や「連携コーナー」等を設けたり、よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、社会参画の手がかりを示した特設ページ「明日に向かって」を掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。<br>○　家庭での自学自習に配慮し、巻頭に教科書で使われているマークの説明を設けるとともに、巻頭に年表「日本の現代史年表」を掲載し、分野間の学習の関連を図ったり、全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。 | | | |
| その他 | ○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について５箇所、北方領土について１ページが取り上げられている。<br>○　環境などへの影響が少ない植物性インキと再生紙を使用し、光沢をやわらげて、目に優しく、大判化に伴う重量増を抑える軽い紙を採用している。<br>○　ルビは全て読みやすいゴシック体にするほか、図版中の配色や体裁にいたるまで、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 | | | |